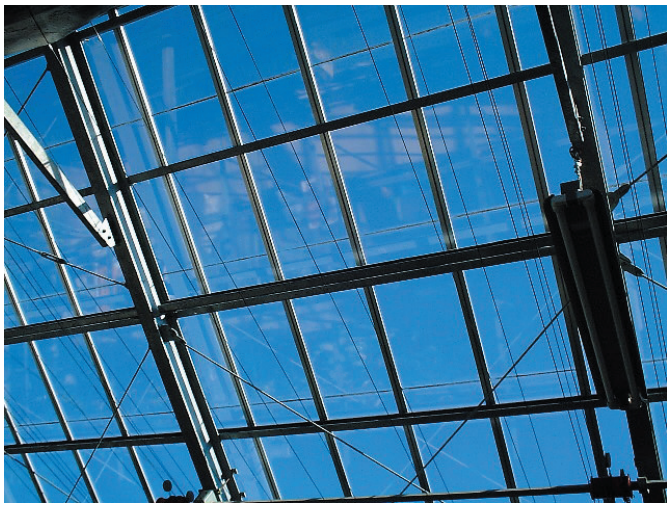
アグリガラス
植物育成用赤外線カットガラス

温室用壁材「アグリガラス」は、独自に開発した当社オリジナルの温室用ガラスです。温室内の温度上昇の原因となる赤外線を大幅にカットしながらも、植物の光合成に必要な光と生育に必要な紫外線を透過します。アグリガラスは、特殊フィルムをガラスに張り付けた構造で、軽量化・低コストを実現。夏場の冷房時には熱負荷を最大約 30% 低減することも可能です。植物の試験研究から花きなどの生産まで幅広くご利用いただけます。



- 熱負荷となる赤外線を大幅にカット

  植物の光合成に必要な 400 ～ 700nm の可視光域の光を通しながら、熱負荷となる近赤外線や遠赤外線を大幅にカットすることで植物の生育に最適な光環境をつくりだします。

- 植物の生育に必要な紫外線を透過

  植物の生育に必要な UV-A 領域（320 ～ 400nm）の紫外線を透過させ、植物の生育を高めます。

- 既存の温室ガラスの張り替えにも対応

  通常のフロートガラスと同じ厚みなので、新設温室から既存の温室ガラスの張り替えにも対応できます。

- すぐれた耐久性

  10 年以上の長期使用においても劣化はほとんどなく、長期間にわたり高い効果を維持します。

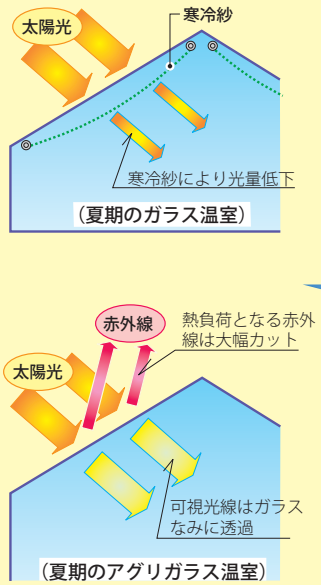
- 飛散防止効果で台風や地震にも安全・安心

  フィルム面に飛散防止効果があるため、台風や地震などの二次災害で万一ガラスが割れても、飛散を最小限に抑えることができ、安全・安心です。（右横図、参照）
  また、火災発生時でも燃えることなく、難燃材の扱いになり安心です。

使用用途

- 植物の試験研究用施設
  ファイトトロン、閉鎖系温室、環境制御温室など
- 植物栽培・生産用温室
  ガラス温室、太陽光利用型植物工場
- 観光温室
  植物園、観光農園用のガラス温室
- アトリウム・サンルーム
- 魚介類の陸上養殖施設

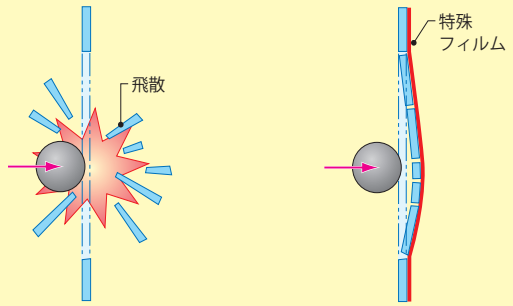
特徴



普通のガラスの場合
- 寒冷紗を使うと遮光によって光量低下。徒長気味になります。
- 地温は上昇します。

アグリガラスに替えると
- 寒冷紗は不要。遮光しないため徒長を抑制します。
- 地温はガラス温室より約 10℃下がります。
- 空調コストを約 30% 低減できます。
- 冬期は保温効果があります。

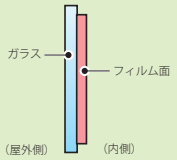
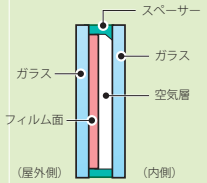
飛散防止効果



割れた時、ガラスの破片があたりに飛び散り危険

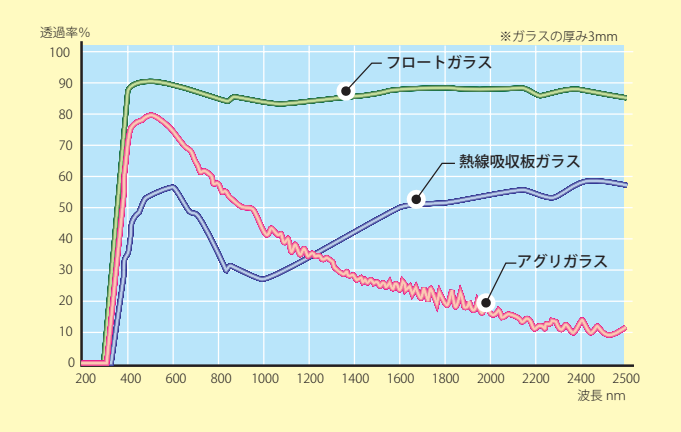
貼付けられた特殊フィルムが飛散を最小限に防止

主な仕様

型　式	TFG-S3	TFG-S4	TFG-S5	TFG-W4	TFG-W6
ガラスの厚み	3㎜	4㎜	5㎜	10㎜ （空気層 4㎜）	12㎜ （空気層 6㎜）
使用温度範囲	-20 ～ +60℃				
構　造	単板タイプ  			複層タイプ  	
製作可能最大寸法	W 1150㎜				

※詳細は別途お問い合わせください。

分光透過率



使用事例

○小型ファイトトロン

○閉鎖系温室

○大型閉鎖系温室

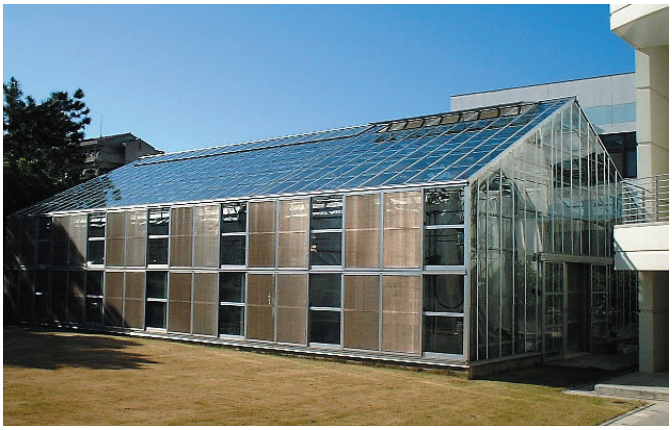
○環境制御温室

○観光温室

○太陽光利用型植物工場

TAH （アグリガラス温室）

- アグリガラス（赤外線カットフィルター）を採用した、試験研究から生産まで幅広く使用できる温室です。
- 温室の外壁には、アグリガラスを採用することで、夏場の空調負荷を抑え、ランニングコストを低減できます。
- 小型から大型まで各種サイズ、種類の温室を用途に合わせて用意できます。
- 非閉鎖系、閉鎖系のバイオハザード対応も可能です。
- 温度・湿度・炭酸ガス濃度、さらに天井や窓の開閉に至るまでをコンピューターで自動制御することも可能です。
- 補光、栽培装置、空調装置、制御装置等を使用用途に合わせて設計、ご提案します。



エスペック ミック 株式会社　http://www.especmic.co.jp

●製品に関するお問い合わせは
大阪オフィス / フードテック事業部
530-8550 大阪市北区天神橋 3-5-6
Tel : 06-6358-4855　Fax : 06-6358-4856

●製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
●このカタログの記載内容は、2014 年 7 月現在のものです。